

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・児島湖流域下水道浄化センターの処理能力が255,900m³/日（H23）から295,300m³/日（H26）へ向上したことにより、水環境及び生活環境が向上した。 ・老朽化した下水道施設（処理場）の改築更新を計画的に行うことにより、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることができた。 ・BCPの基本事項を策定することにより、速やかにBCP策定作業に着手できた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 浄化センター処 理能力	最終目標値	295,300m ³ /日	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	295,300m ³ /日		
II 定量的指標の達成状況	指標② 改築更新率	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	100%		
II 定量的指標の達成状況	指標③ 長寿命化計画策 定率（処理場）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	100%		
II 定量的指標の達成状況	指標④ BCP（基本事 項）策定	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に下水道施設の長寿命化・耐震化を行うことにより、施設の持続的な管理・運営を図る。 					